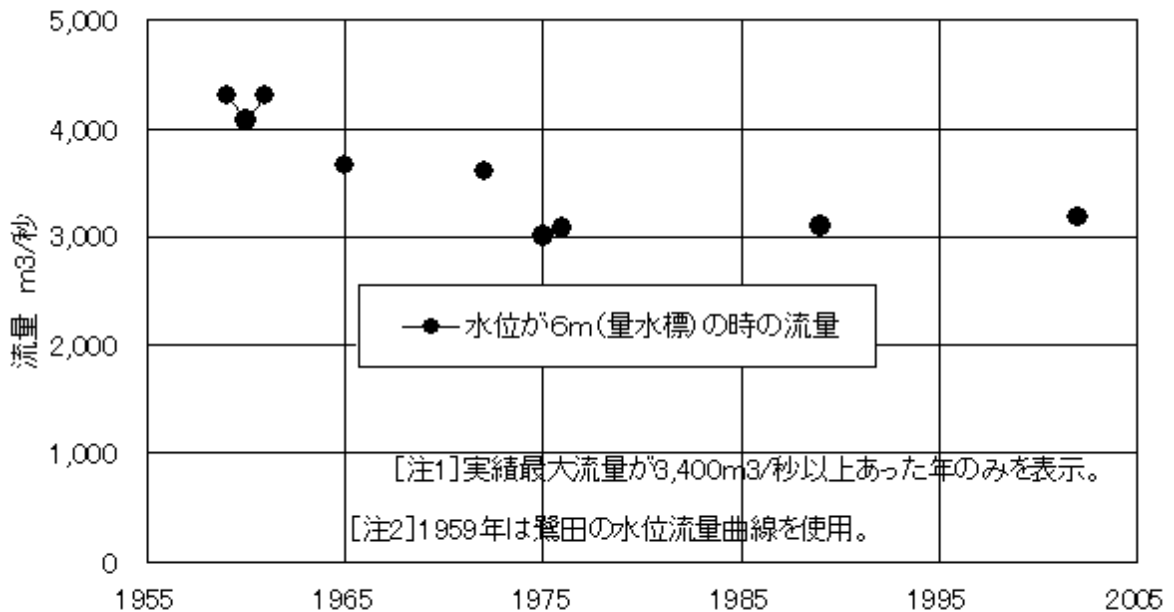
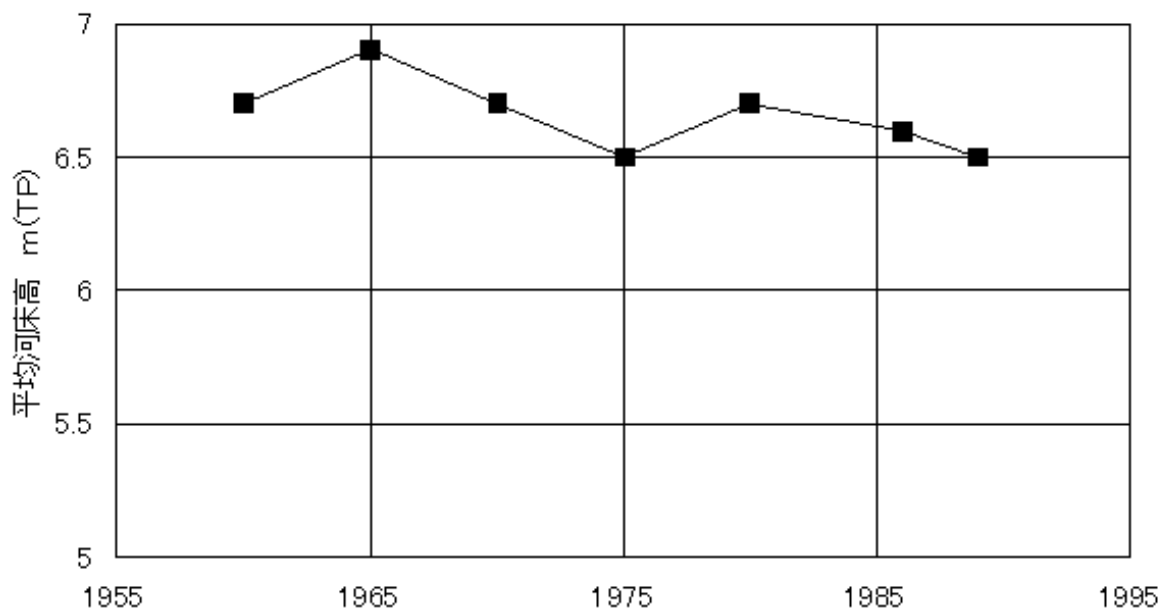


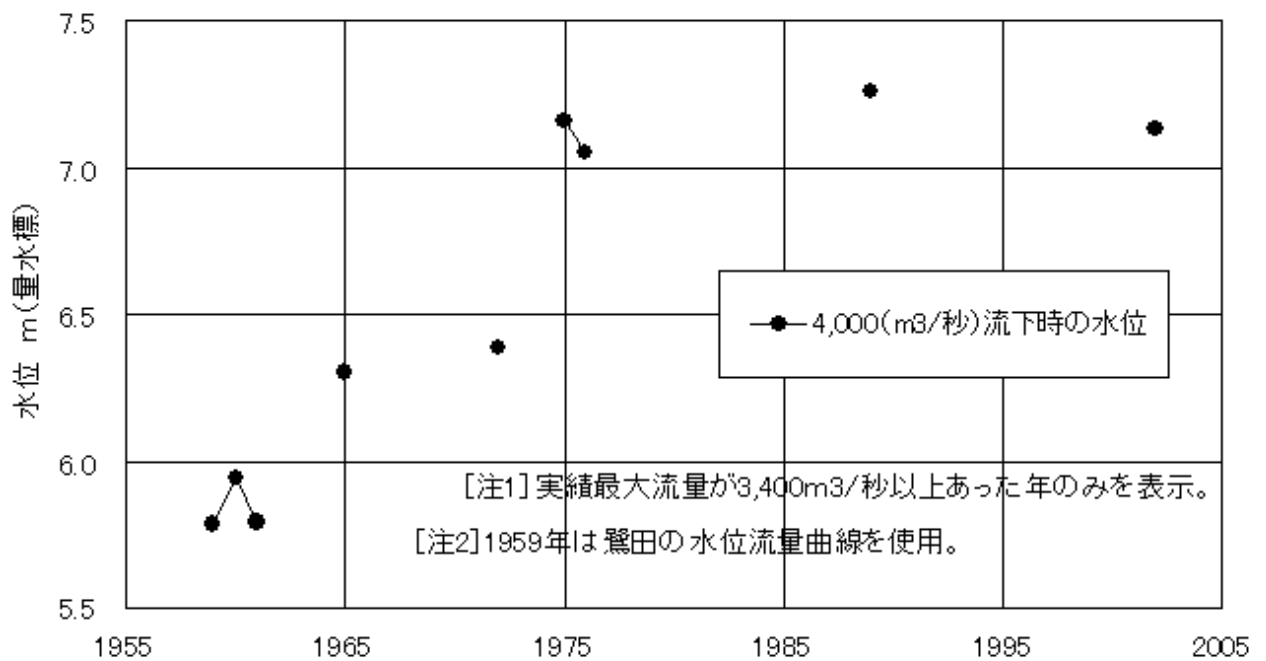
補図1 1959年9月洪水の実績流量と貯留関数法による計算流量(万石地点)



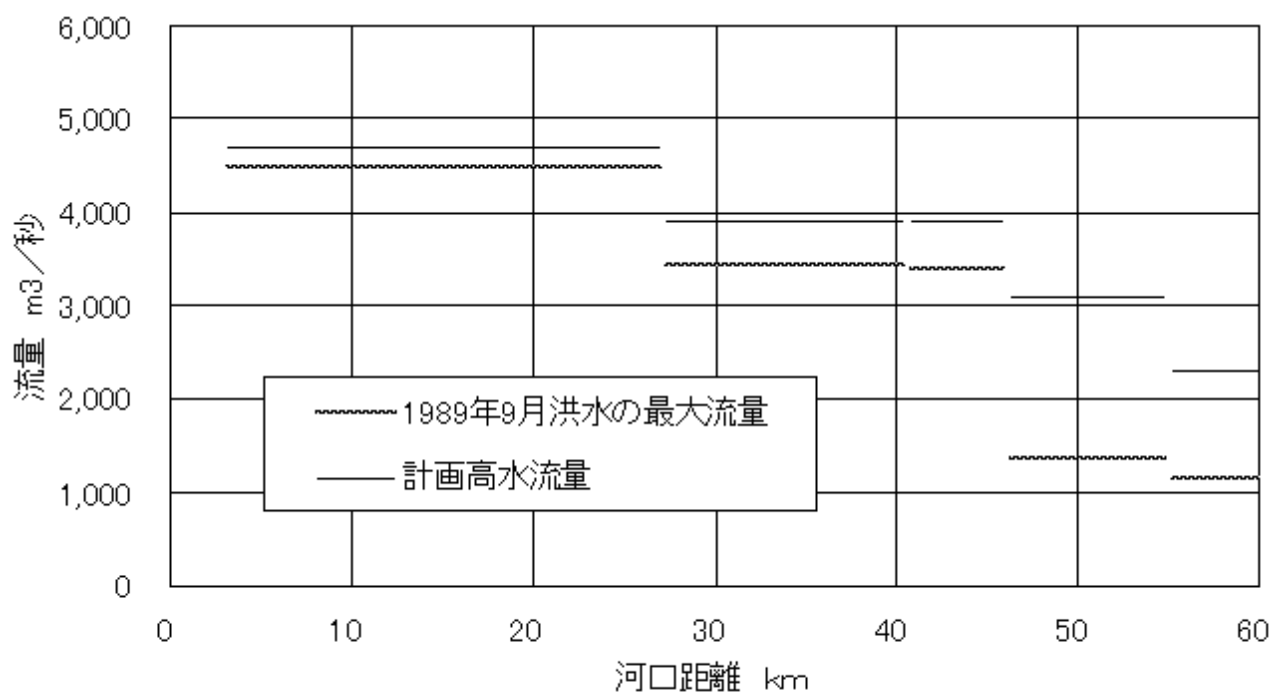
補図2 各年の水位流量曲線から求めた水位6mの時の流量(万石地点)



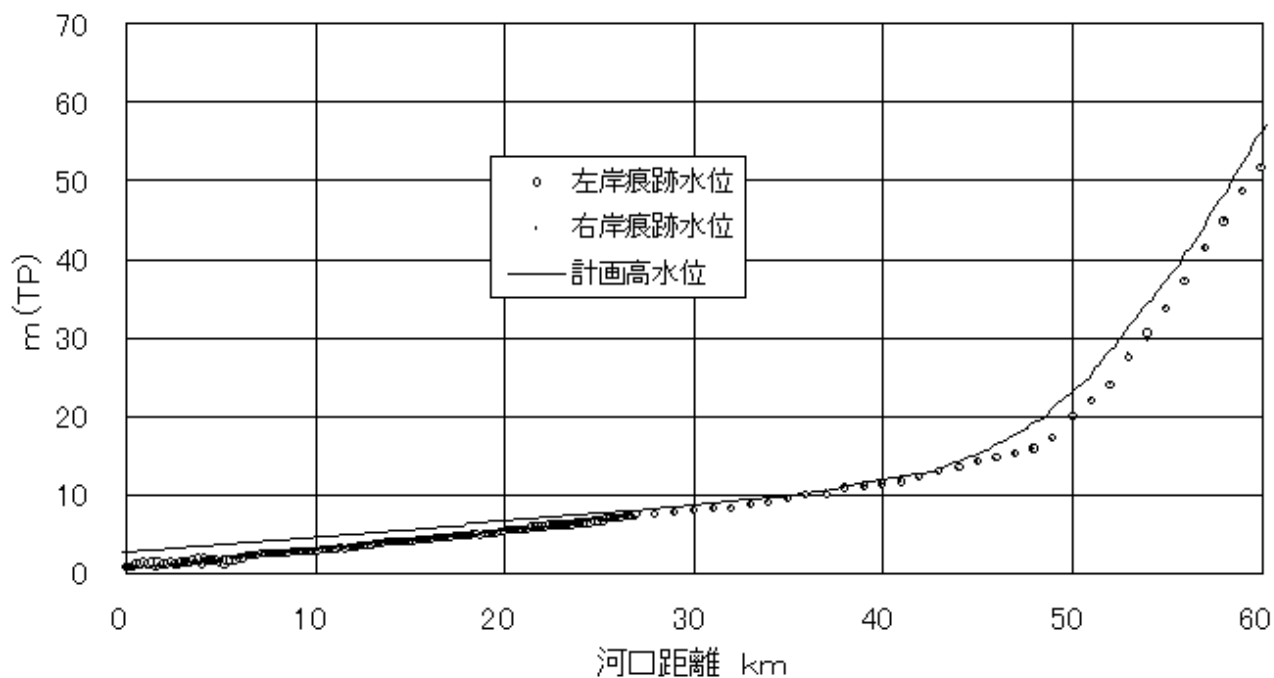
補図3 万石地点の平均河床高の推移



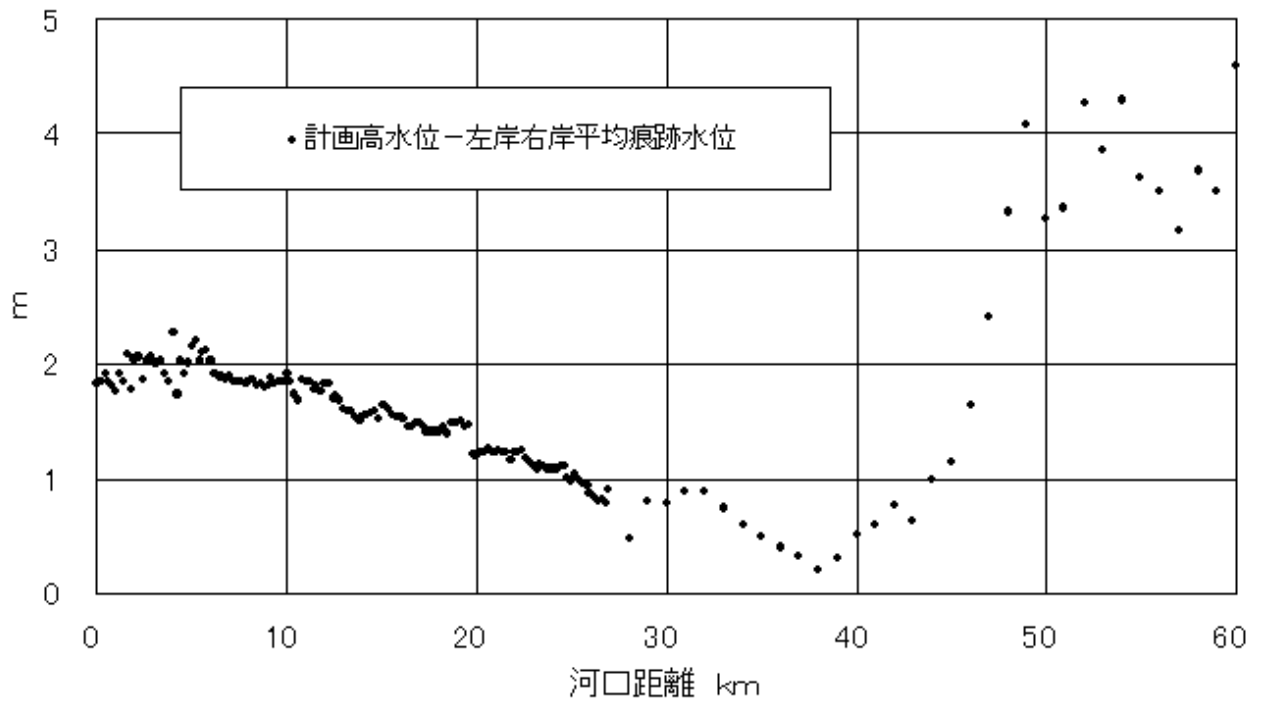
補図4 各年の水位流量曲線から求めた4,000 (m³/秒) 流下時の水位 (万石地点)



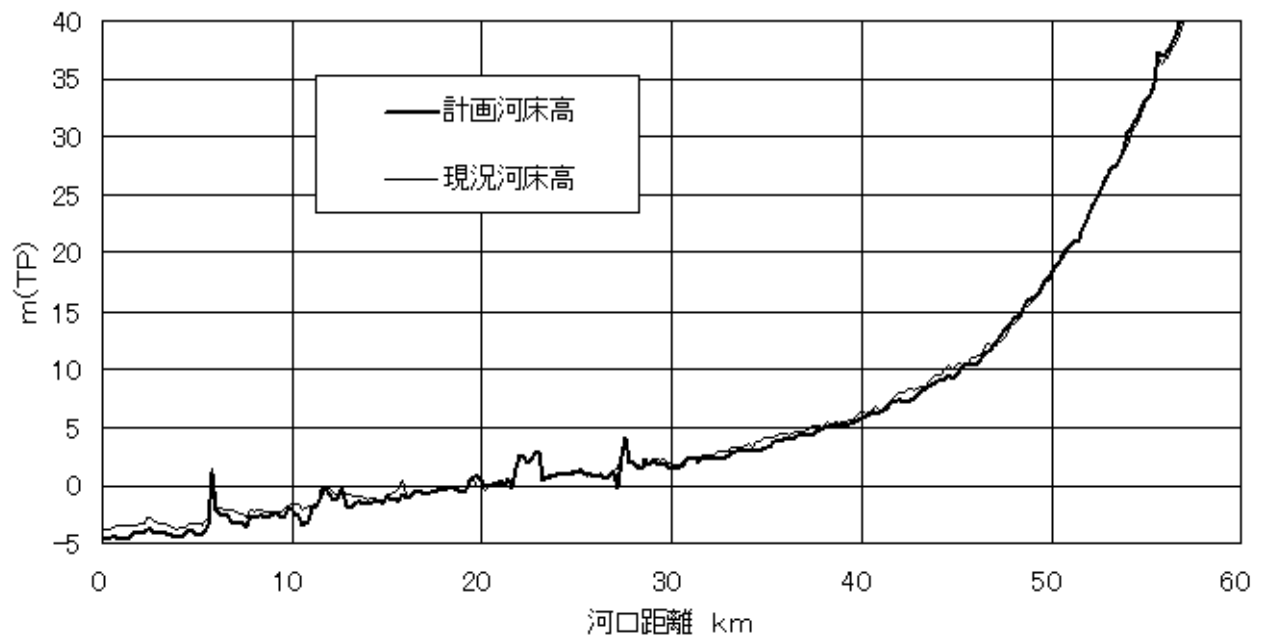
補図5 1989年洪水の最大流量と計画高水流量(揖斐川)



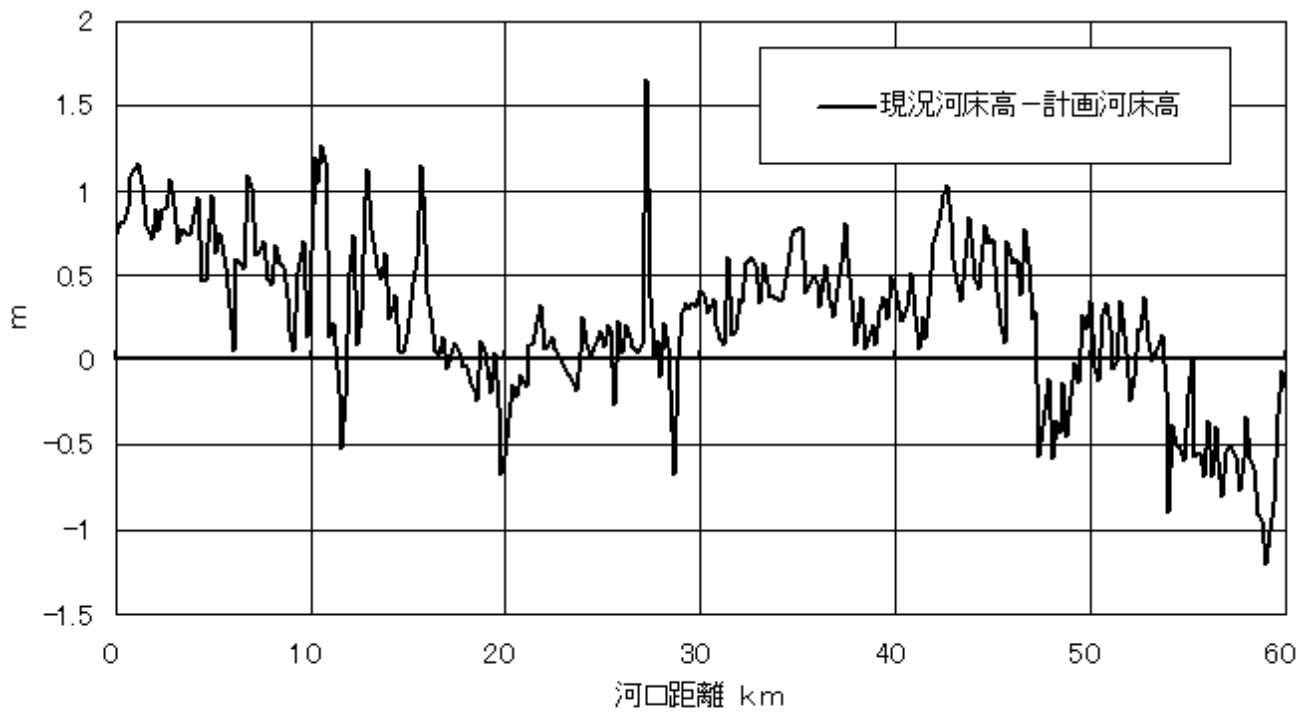
補図6 1989年9月洪水の痕跡水位と計画高水位(揖斐川)



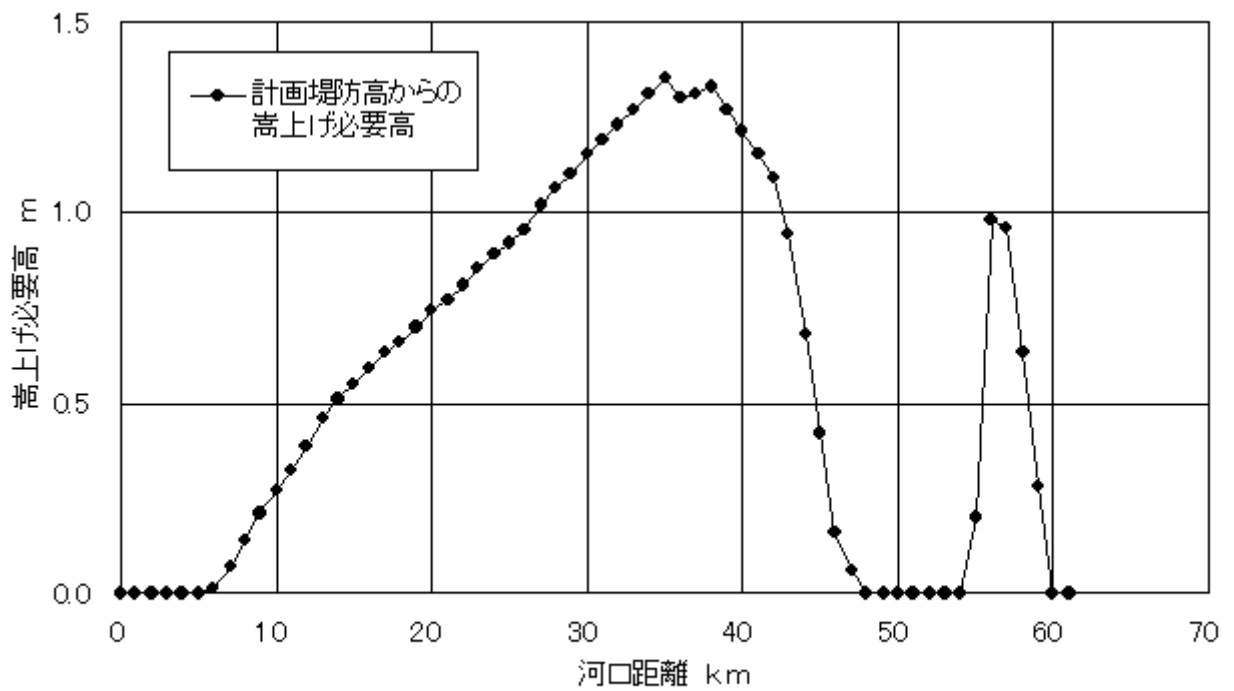
補図7 1989年9月洪水の痕跡水位と計画高水位との差(損斐川)



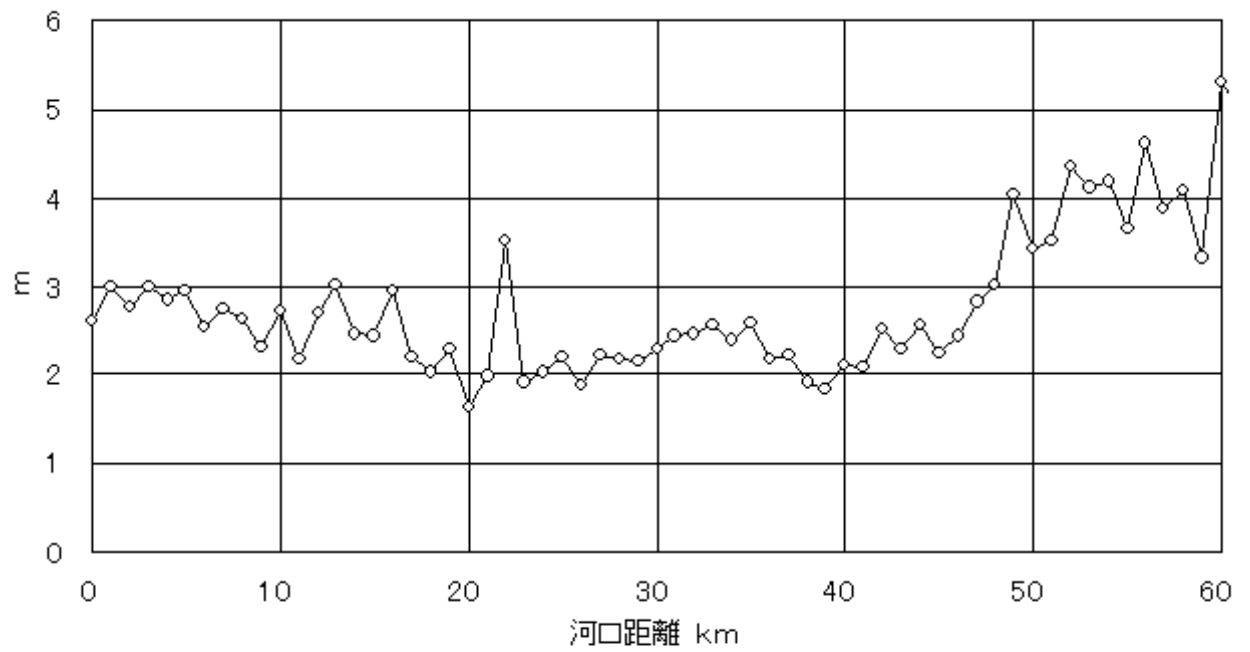
補図8 河積から求めた平均河床高(損斐川)



補図9 河積から求めた平均河床高の計画と現況との差(揖斐川)



補図10 代替案「堤防嵩上げ案」の計画堤防高からの嵩上げ必要高(建設省)



補図11 嵩上げ案の〔計画堤防高からの嵩上げ必要高〕
 + 1989年9月洪水の〔計画高水位 - 痕跡水位〕
 +〔現況平均河床高 - 計画平均河床高〕